

立憲民主党 沢田けいじ Sawada Keiji Report 区議会レポート

令和5年12月

文京区議会政策チーム AGORA
東京都文京区根津2-34-21
Tel: 080-5697-8739
Mail: info@sawadakeiji.jp
URL: https://sawadakeiji.jp
X: @sawadakeiji1979
Facebook: @sawadakeiji.jp

- 1 文京区議会ピクニック第2シリーズ開催
▶参加者の声、「JIBUNマガジン」の取材
- 2 今後の活動予定
- 3 11月定例議会の報告
▶文京区の地方自治制度の課題
- 4 沢田けいじ区政報告会
▶「議会ピクニック」議員座談会



11月15日議会ピクニックの意見交換会の様子

区内外からの参加のべ56名！
「議会ピクニック」第2シリーズを開催しました
「疎遠だった議会が自分ごとになった」「住民のための議会を一緒につくっていきたい」の声も

「もっとたくさんの人に議会のことを知ってもらいたい」—住民と議会の距離を縮めるため、党派も会派もさまざまな文京区議会議員と住民の有志で9月に初開催した「議会ピクニック」。今回は前回(9月開催の第1シリーズ)を上回るのべ56名(議員を含む)の参加が、区内外からありました。

年齢も職業もさまざまな参加者から「これまで疎遠に感じていた議会が、自分ごとのように感じられるようになった」「住民と議員が力を合わせて、住民のための議会をつくっていききたい」などの声が聞かれ、確かな手ごたえが感じられました。今回の第2シリーズではこれまでの参加者の要望にお応えし、文京区議会11月定例議会の8つすべての委員会から訪問先を選べるように

※詳しい情報は、沢田けいじ公式 web サイトの記事をご覧ください

※1 第2シリーズの様子や主な参加者の声
<https://sawadakeiji.jp/2023/11/24/1949/>



※2 JIBUN マガジンの紹介記事
<https://sawadakeiji.jp/2023/11/18/1932/>



にしました。また、開催時間も午前と午後の2パターンから参加者のライフスタイルに応じて選べるようにしました。私の担当のひとつが11月15日・午後の災害対策調査特別委員会でした。午後0時、計10名の参加者・スタッフと一緒に文京シビックセンター22F・区議会第1応接室に集合。ランチをとりながら事前説明ののち、24F・第1委員会室で委員会を傍聴しました。傍聴後は再び第1応接室に戻って、解説や意見交換を行いました。前回より参加者が多様化し、初参加の方と前回も参加した方や住民への情報提供の方法などについてさまざまな議論が交わされました。*1

◎活動予定

- 12月22日(金) 区議会レポート #28 発行
- 12月23日(土) 駅前相談会 #1 開催 (14:00-15:30@根津駅1番出口前)
- 1月14日(日) タウンミーティング #8 開催 (14:00-15:30@アイソメ/根津駅徒歩5分)
- 2月16日(金)～3月13日(水) 議会ピクニック 第3シリーズ開催 (予定)

【11月定例議会】自治制度委員会でも文京区の地方自治制度の課題を深掘り

自治基本条例に定めた区民の権利（知る権利・参加する権利）についての、区民と区政側との意識の乖離が浮き彫りに

前回9月の委員会に続き、11月14日の自治制度・地域振興調査特別委員会^{※1}で、公約で取り上げた「文京区の地方自治制度の課題」について質問しました。前回は「区や区議会が何をしているのか知らない」「政治に参加している意識がない」という住民の声を例に挙げ、「文の京」自治基本条例（平成16年制定^{※2}）に定めた区民の2つの権利（①知る権利、②参加する権利）が、どこまで実現されているかを質問・議論しました。今回は企画課長の「定量的な評価が難しいため、現状は把握していない」との今回の答弁を掘り下げ、この2つの権利をどうやって評価すべきか、どうしたら向上できるか、について質問しました。

①については「周知・啓発に努めており、一定の成果は認めている」と、②については「参加の方法や考え方は人それぞれなので、個人で判断すべき」との答弁があり、住民の声と区の意識の乖離が明らかになりました。私は、住民の主体性を高めることが、地方自治への責任感や当事者意識を醸成する唯一の道だと考えます。その結果として、区や区議会の議論や意思決定の質が向上すると考えています。このサイクルを実現するためには、まず住民と区や区議会との距離を縮める必要があります。来年は自治基本条例の制定から20年の節目の年です。もっとたくさんの人と一緒に地方自治についての議論を充実させていきたいと思っております。次回の委員会でも議論を深めていきますので、ぜひ傍聴においでください。

「知る権利」が、どこまで実現されているかを質問・議論しました。今回は企画課長の「定量的な評価が難しいため、現状は把握していない」との今回の答弁を掘り下げ、この2つの権利をどうやって評価すべきか、どうしたら向上できるか、について質問しました。

※1 委員会の種別や資料・会議録
<http://sawadakeiji.jp/2022/03/15/1066/>



※2 「文の京」自治基本条例
<http://sawadakeiji.jp/policy1/>



「議会ピクニック」議員座談会



ゲストの鈴木ようすけさん

沢田けいじ区政報告会を開催しました

青空報告会や、「議会ピクニック」議員座談会も初開催

11月26日（金）19:00から不忍通りふれあい館・B1Fホールにて、5月の改選後はいじめの区政報告会を開催しました。同日13:00からは根津駅・千駄木駅前ほか3か所で青空区政報告会も開催。区議会の最新の動向や、先日「第2シリーズ」を終えたばかりの議会ピクニックについて、さまざまな場所で報告しました。ふれあい館の前半は、来賓の吉田禎介さん（根津弥生七ヶ町連合会・藍染町会会長）からのお言葉。ゲストの鈴木ようすけさん（衆議院議員）からの国政報告ののち、「子ども議会ピクニック」（本年8月に初開催）について、当日の写真を投影しながら振り返りを行いました。後半は、まず私の区政報告。そして、「議会ピクニック」発起人の有志4名（依田翼さん、ほかり吉紀さん、高山かずひるさん、たかはまなおきさん）をゲストに迎え、9月と11月に開催した「議会ピクニック」をテーマに座談会を行いました。

参加者からの「住民は政治に興味を持てるし、議会は『内輪の論理』に気づけるので（双方よし）の取り組み」「平日の日中なんて無理と諦めていたけど、仕事を休んでも参加しなくちゃと思った」などの声も会場で紹介され、議会ピクニックへの期待や発起人の熱意をあらためて共有する場となりました。今後は発起人の区議会議員と協力して、定例議会の会期ごとに、文京区内のさまざまな地域で報告会・座談会を開催してまいります。次回報告会は3月下旬の予定です。詳細は次号以降のレポートと公式サイトでお知らせしますので、ご期待ください。

【沢田けいじ公式 web サイト】



sawadakeiji.jp